道アマチュア選手権ハンディキャップ

浦山初V 女子A

苫総合経済高2年

◇6日◇安平・早来CC（男子＝Aの部6662㍎、Bの部6348㍎、女子A、Bの部とも5663㍎、パー72）◇出場　男子Aの部73人、Bの部24人、女子Aの部21人、Bの部8人

女子Aは苫小牧総合経済高2年の浦山真実（JGAジュニア会員）が、ただ1人60台となるネット69で回り、初優勝を飾った。初出場だった昨年2位から着実な成長を見せた。男子Aは鈴木努（46＝アーレックス）が制した。マッチングスコア方式で選ばれた男女A、Bの上位4人が、12月3日に行われるJGAアンダーハンディキャップ競技（千葉・鷹之台CC）の出場権を獲得した。

ネット69ただ1人60台 はつらつ17歳

伸び盛りの17歳は、昨年よりひと回り大きい優勝盾を手に、とびっきりの笑顔を見せた。女子Aを初優勝した浦山は「ベストスコアだったので3位以内には入れるかな、と思ったけど、まさか勝てるとは思っていませんでした。すっごくうれしい」。スコアボードで優勝を確認すると、周囲の祝福に恥じらいながら笑顔を振り舞いた。

出だしの1番ホール。プレッシャーもあり、ドライバーを左に曲げた。「バンカーに捕まって、もう最悪のスタートでした」と苦笑い。それでもパーセーブでしのぐと、4番ミドルでバーディーを奪って波に乗った。トータル3バーディー、6ボギーのグロス75はベストスコア。ハンディキャップは昨年11から6となり、不利な立場になっていたが、それを上回る成長ぶりを見せる結果となった。

「もっと上手になって藍ちゃんに近づいて行きたい」

昨年全国9位

小学3年から父好栄さん（58）と祖父の勧めでゴルフを始めた。「練習場が遊び場でした」。この春から体力強化を目的に、学校まで約40分を要する9㌔の道のりを自転車通学。「下半身に筋力がついて、プレーも安定してきました」。昨年よりドライバーの飛距離も10㍎伸び、220㍎になった。

尊敬する宮里藍にもらったサイン入りグッズは今でも大切な宝物。「もっともっと上手になって藍ちゃんに近づいて行きたい」。全国では昨年9位。上位進出も決して夢ではない。

女子Aの部を初優勝し、笑顔を見せる浦山

ドライバー220㍎

◆浦山真実（うらやま・まさみ）1996年（平8）8月9日、苫小牧市生まれ。父、祖父の勧めで小学3年からゴルフを始めた。高校にはゴルフ部がないため、札幌まで行き、プロのレッスンを受けるなどして技術を高めている。ドライバーの飛距離は220㍎。家族は両親と姉、156㌢。

◆道アマチュア選手権HC女子A◆

順位	選手名	（所属）	ネット	ハンディ	グロス
1	浦山　真実	（JGAジュニア会員）	69	6	75
2	木村　和美	（広済堂札幌）	71	13	83
3	金　京子	（帯広）	72	13	85
3	阿部　紀子	（ハッピーバレー）	72	14	86
5	夏井利津子	（阿寒）	74	10	84
6	泉亭　恵美	（ハッピーバレー）	75	10	85
7	高田　靖子	（広済堂札幌）	76	8	84
7	倉中　貴代	（釧路）	76	7	83
9	川　清子	（札幌国際）	78	5	83
9	加藤　依子	（スウェーデンヒルズ）	78	10	88
11	菱沼　祐子	（ハッピーバレー）	79	16	95
11	高橋　郁美	（帯広）	79	13	92
11	片原智栄子	（羊ケ丘）	79	8	87
11	福士　真紀	（伊達）	79	9	88
14	松山　総子	（登別）	79	12	91
15	白木　淳子	（小樽）	80	14	94
16	尾崎　美保	（恵庭）	80	3	83
16	経塚美穂子	（阿寒）	80	10	90
19	小川ちづる	（旭川）	81	9	90
19	石原　通子	（羊ケ丘）	81	12	93
21	大森美和子	（釧路）	88	8	96

◆道アマチュア選手権HC男子A◆

順位	選手名	（所属）	ネット	ハンディ	グロス
1	鈴木　努	（アーレックス）	67	5	72
2	沢田　石勝	（帯広白樺）	69	2	73
3	千尾　信介	（千歳空港）	68	2	70
4	若松　清志	（千歳空港）	69	8	77
5	若原　文彦	（旭川国際）	70	14	84
6	田　勝礼	（釜蘭）	70	8	78
6	大久保裕樹	（旭川国際）	70	9	79
8	山崎　由一	（シャムロック）	71	9	80
8	坂　聡	（トーヤレイクヒル）	71	8	79
8	村山上宏一	（サホロ）	71	8	79
8	田谷　裕隆	（旭川国際）	71	6	77
8	神野　俊英	（アルペン）	72	7	79
13	浅野井　敏昭	（コート旭川）	72	7	79
14	竹本　大作	（コート旭川）	72	6	78
14	白坂　義徳	（阜来）	72	13	85
16	金　一博	（北海道ポロト）	73	4	77
17	小島　一之	（帯広）	73	10	83
17	長町　秀人	（旭川国際）	73	10	83
17	瀬　俊浩	（カイト&フォックス）	73	9	82
17	別段　瑞生	（オークウッドの滝）	73	13	86

【注】成績は17位タイまで

【男子】▷B成績　❶佐藤公彦（シャトレーゼ石狩）ネット63（ハンディ24、グロス87）❷須藤伸哉（オークウッド）67（24、91）❸森たかし（シェイクスピア）68（26、94）

【女子】▷B成績　❶広田仁美（釧路）ネット71（ハンディ26、グロス97）❷伊藤鈴子（北海道クラシック帯広）71（29、100）❸清野祐子（札幌エルム）74（20、94）

ネット67男子A初優勝 鈴木「地の利あった」

男子Aの部を優勝した鈴木

3度目の全国へ

ネット67で男子Aを初優勝した鈴木は「パットが入らず、ショットもいまひとつだったが、今日はハンディに助けられました。もとこのメンバーだったので地の利もあったかな」と笑顔を見せた。3バーディー、3ボギーのグロス72。当コースでのベストスコア69には届かなかったが、安定したプレーで初優勝をたぐり寄せた。今年は8月の道倶楽部対抗で「ショットが悪く157もたたいてしまった」と満足のいくシーズンではなかったが、スイングを見直すなどして修正。3度目の全国出場で上位進出を狙う。

男子A2位 沢田残念だなぁ

石勝（68＝写真）は「優勝したと思ったのに残念だなぁ」と悔しそうにスコアボードを見つめた。それでも「今日はパットが良かった。年の割に健康なもんですから」と笑う。ゴルフ歴42年のベテラン。11年のミッドシニアを優勝した実績を持つ。ドライバー飛距離は3年ほど前から10㍎ほど落ちたが、5番ユーティリティーを絶妙に操ってカバーしているという。「全国では70台を目指して楽しんできます」と笑顔だった。

◆ネット63で男子B1位の佐藤公彦（50＝シャトレーゼ、写真）節目の年。自分ではよく頑張ったと思うし、特にアプローチが良かった。ショートゲームに磨きをかけて全国に向かいたい。

◆ネット71で女子B1位の広田仁美（48＝釧路）8、9点たいたところもあったけど、集中力を切らさずに粘って良かった。全国では大たたきをしないように頑張ります。